

新版 溶接・接合技術入門 正誤表 (6版第2刷用)

2017年7月 Ver.3

| ページ | 箇所 | 修正前 | 修正後 |
|-----|--------|--|--|
| 78 | 19 行目 | Ar ₃ 温度より | → Ac ₃ 温度より |
| 149 | 6~7 行目 | もし、図 (b) のように自由に膨張できれば、温度変化 $\Delta\theta$ ($=\theta_{\max} - \theta_0$) (°C) により $\Delta l = l \cdot \alpha \cdot \Delta\theta$ ただし、 α は線膨張係数 (1/°C) であり、1mm 長さの棒が温度上昇 1°Cにより生じる膨張量が α (mm) となることを意味する。 だけ伸びる。しかし、 | もし、図 (b) のように自由に膨張できれば、温度変化 $\Delta\theta$ ($=\theta_{\max} - \theta_0$) (°C) により $\Delta l = l \cdot \alpha \cdot \Delta\theta$ だけ伸びる。ただし、 α は線膨張係数 (1/°C) であり、1mm 長さの棒が温度上昇 1°Cにより生じる膨張量が α (mm) となることを意味する。 |
| 276 | 図 4.39 | (15) オーバーラップ | → (19) オーバーラップ |
| 309 | 15 行目 | また、洗浄液の除去・・・ | → また、浸透液の除去・・・ |